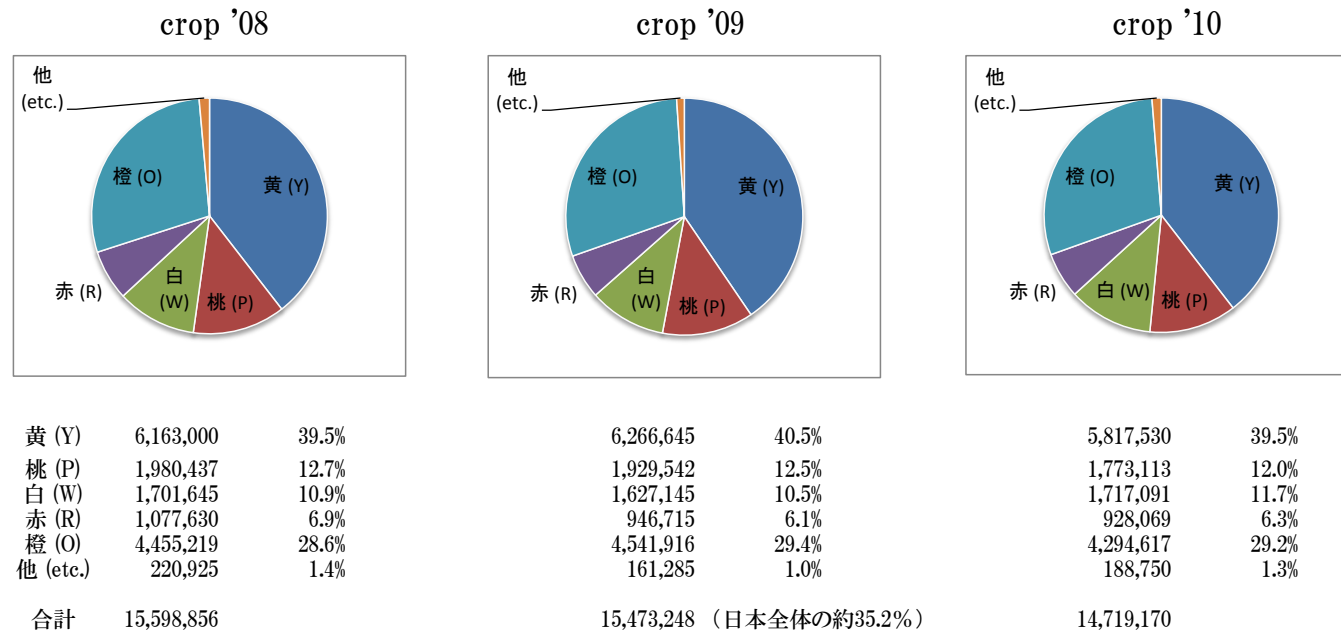


すかし(AH)・LA 他 < オランダ産・南半球産 合計 > (NL/NZ/CH)



お世話様です。

1990年代は、こういった類の資料をほぼ毎年作っていました。「品目別色別割合」も、15年振りくらいになりますが、作成してみました。(あのころは若かったな～)

当時は無かったO.T(黄)が追加されていますが、まず大手市場様の取り扱い割合とほぼ同じ割合となっていると思います。

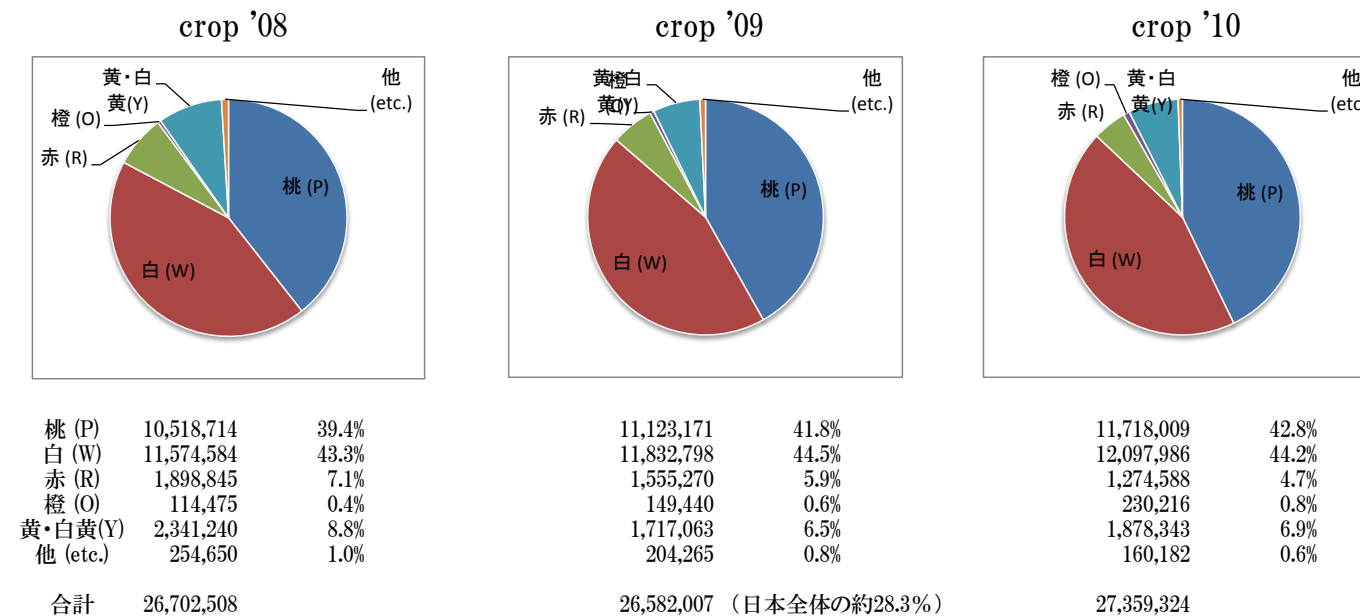
1) A.H/L.Aのオレンジ・黄色が案外少ないんだなと思いました。黄O.Tがあるんだから、もっとオレンジがあっても良いのではと感じましたが、仏事系の消費場面が多いのだから、黄や白があっても良いのでしょうか。

2) カトリックイエローという言葉、^{仏教}ブッティストイエローという言葉は、世の中にはないと思いますが、薄い黄色に白の縁取りというのが、それらの宗教がメインの国では需要されている様です。

彼らは個人消費のほとんどを、宗教に関わる場面で行っている様で、白から黄色系の需要の変化が起きている様です。

* 南半球だけだと色バランスが良くないように見えますが、合わせると過去3年間の割合がバランスよくとれていてびっくりしました。

オリエンタル(OH)・OT < オランダ産・南半球産 合計 > (NL/NZ/CH)



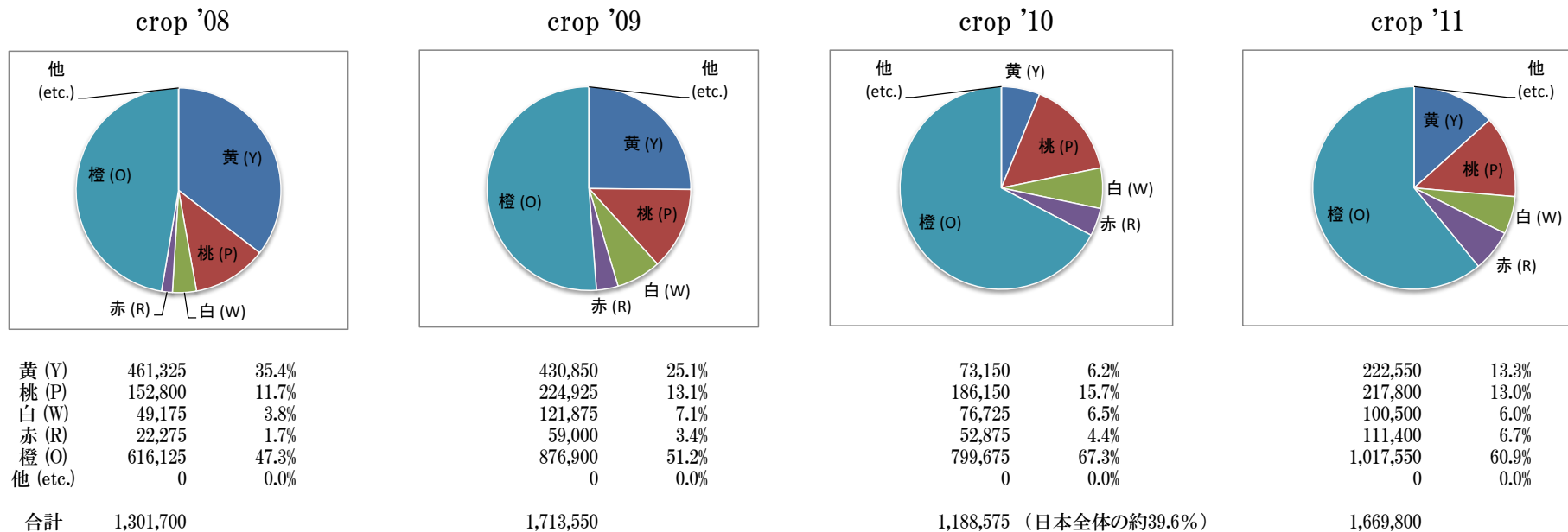
注① * '08の白黄/黄の比率が高いのは、その年日本に入荷した南半球産イエローウインの総代理店だった為。

※ '08・'09は確定数値。
 ※ '10は継続中だが取引後半戦となっているので色別割合に大きな変動はない。
 ※ '08/'09のAH/LAの減少率は日本全体の減少率より少ない。'09/'10のAH/LAの減少率は日本全体より大きい。
 ※ '09/'10のOH/OTの増加率は日本全体の増加率より大きいと考えられる。(S.H産の商系の増加)

百合品目別・色別 割合

(株)山喜農園

すかし(AH)・LA 他 < 南半球産のみ > (Only S.H)



お世話様です。

南半球だけだと色バランスが悪いですね！

全体の方を見てください。

1) 南半球産のLAは、比較的早く入荷する為、作期の計画が立てやすい。
うまく品質が冷凍球比較で良く、経費が安く済むはずの南半球産LAを上手に作ってください。

2) 当社は東日本側での取引が多いので、どうしても白系の割合が少なくなる。
南半球産の球根は、切花農家の皆様が待っていて「ヨーイトン」で球根を植えがち。
勢い品種/色合い毎の切花出荷が、重なり気味になってしまう。

注① * 春なのだから、ピンク多くてよいのでは、という意見もある。

* 作型毎の球根の使い分け、球根産地/コンディションの使い分けを薦めることが、色バランスを整えていくのにも良い影響を与えると思う。

* 2N/TLは、芽伸ばしする作型で。

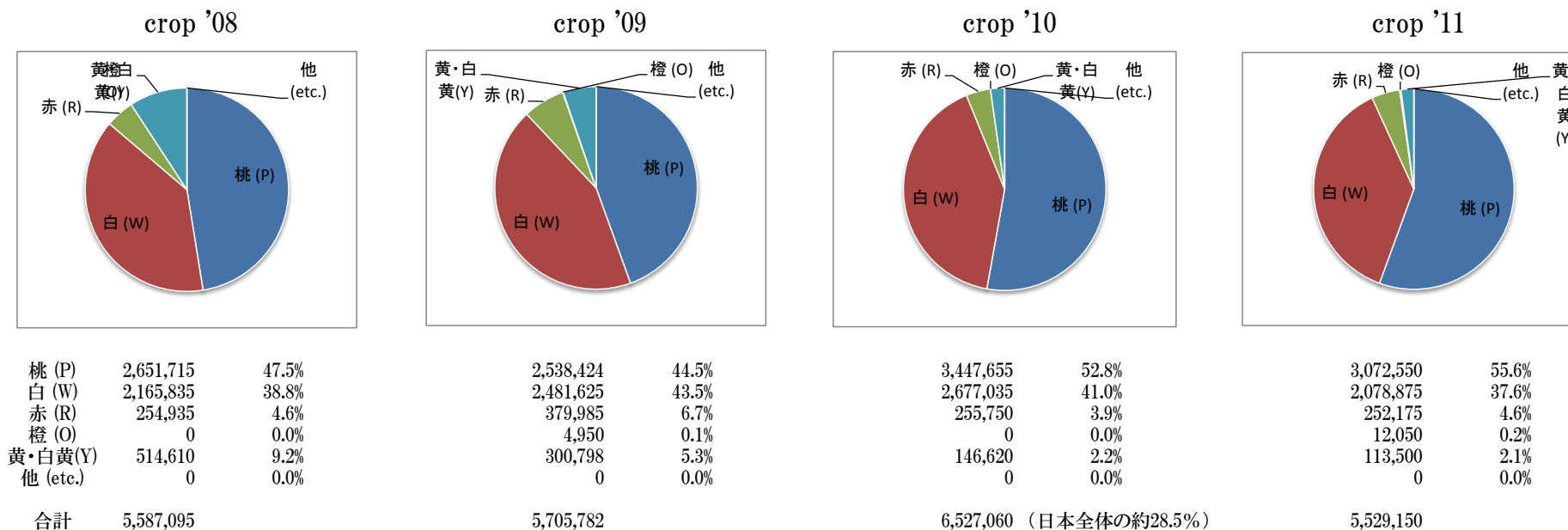
* NIS/LOSは、その他の産地でも生産がある品種は、このコンディションを遅い作型で。

* N.Z/C.Hの標準球は「IN=春植え、秋掘り1年栽培球」ですから、その特徴を生かして！

よろしく願います。

注② * '08の白黄/黄の比率が高いのは、その年日本に入荷した南半球産イローウインの総代理店だった為。

オリエンタル(OH)・OT < 南半球産のみ > (Only S.H)



※ '08・'09・'10は確定数値。

※ '09/'10のS.H産OH取扱い増加は商系取引の増加。

※ '11は取引継続中でまだ変動する予定。(OH/OT系は昨年比約80~85%の取引が終了しているが、直接取引の個人・JA含めて白系OHの注文が少ない感じがしています。燃料高騰の影響?)

※ 南半球産LAの橙率が高いのはR.トリニティがある為。オランダ産・南半球産の合計数の色別割合をみるべき！

※ オランダ産と南半球産の合計数の色別割合と比べて年毎の色別変動割合が高い。しかし、オランダ産との合計にすると、極めて安定している。